

## (2) 水 防

**1. 水防の為の施設** 木戸川、井出川共に長年に亙り河川堤防が強固に構築された。

**水位計の所在地** 常磐線木戸川鉄橋橋脚

**2. 水害の状況** 昭和 46 年の台風 23 号、昭和 54 年の台風 23 号は豪雨であったが、堤防決壊の被害はなく、倒木・土砂崩れなど被害は僅少であった。

**3. 水防団の組織** 消防団がかねている。

## (3) 砂防・防潮・浸蝕

1. 太平洋沿岸の砂防及び防潮は、波倉から山田浜に至るまで、クロマツ林が砂防・防潮林として大事に管理されている。  
山田浜はタブノキ林もその役目を果たしている。
2. 木戸川・井出川の上流には砂防ダムや砂防堤が諸所に築堤されており、砂防林として自然の生育のまま残されている樹林も諸所にある。例、木戸川のモミー落葉広葉樹の自然林
3. 最近沿岸浸蝕が進んでいる為、波倉浜・井出浜・山田浜にはコンクリートの強固な堤防を築き、更にその外側にテトラポットを積み重ねて浸蝕を防いでいる。

●昭和 55・56・57 年と 3 年続きの凶作・不作は、夏に冷たい風ヤマセが吹き込んだのがその原因の 1 つとされている。

## (4) 塩 害

海岸近くの家々では、自転車・自動車・農機具・ミシン等鉄製品は錆がひどく、いたみが早いということである。農作物に与える影響も少なからずあり、柿は全然実らないという。